

1977 » 2017

寄り添い続けて40年…

損保ジャパン日本興亜福祉財団・40周年記念誌

SOMPO JAPAN NIPPONKOA WELFARE FOUNDATION

[ご 挨 拶]



1977年10月に設立された当財団は、皆様の深いご理解とご協力により設立40周年を迎える事ができました。これまでご支援頂いた皆様へ、心より感謝申し上げます。
2015年4月に障害者福祉を中心に取り組んできた損保ジャパン記念財団と、高齢者福祉を主体に取り組んできた日本興亜福祉財団が合併し、より広く、公益に資する活動を行っております。
民間の助成財団として、法制度の谷間になっている方々へ柔軟に対応することが私たちの役割・使命であり、先駆的な支援を心がけて参りますので、引き続き皆様方の温かいご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団
理事長　二宮 雅也

[事 業 内 容]

社会福祉事業助成

- NPO基盤強化資金助成
- 自動車購入費助成
- 海外助成
- 地域災害等緊急対策助成
- 会議会合・国際交流費等助成
- 在宅で高齢者を介護する家族の交流及び研修資金助成

社会福祉研究助成

- ジェロントロジー（老年学）研究助成
- 社会福祉研究助成
- 講演会
- 財団叢書
- 研究会

奨学金給付

- 介護福祉士養成のための奨学金の給付

文献表彰

- 損保ジャパン日本興亜福祉財団賞

[私 た ち の 主 な 取 組 み]



障害者福祉



主に障害者福祉団体が、
自動車を購入する費用を
助成します。

高齢者福祉



認知症等の高齢者を在宅で
介護する家族等を対象とした
研修会等に関わる費用を
助成します。

地域福祉



地域における高齢者・障害者・
子ども等に関する複合的な生活
課題に対する先駆的な活動や、
地域における福祉人材の育成に
大きく貢献する取組みをしている
団体に助成します。

震災・災害支援



大規模地域災害が発生した
場合に、主として障害者福祉活動
団体に対して緊急対策助成を
行っています。

NPO支援



社会福祉活動を行う
NPOの組織や事業基盤を
強化する活動に必要な
資金を助成します。

[財団の助成活動]

累計18億1,034万円を助成してきました。

（2016年度末）

障害者福祉　高齢者福祉　地域福祉　震災・災害支援



海外助成（タイ）



自動車購入費助成先



NPO法人設立資金助成先



認定NPO法人取得資金助成先



「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成先



自動車購入費助成先



認定NPO法人取得資金助成先



「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成先



NPO法人設立資金助成先



海外助成（フィリピン）



海外助成（タイ）





自動車購入費助成先





自動車購入費助成先



認定NPO法人取得資金助成先



海外助成（カンボジア）





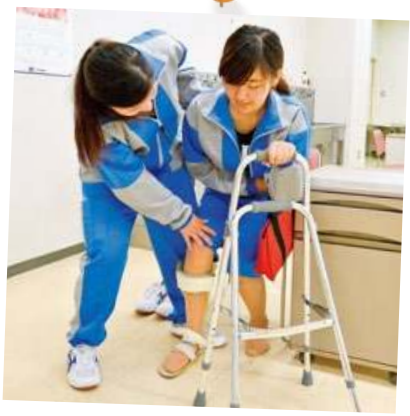
海外助成（インド）



「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成先

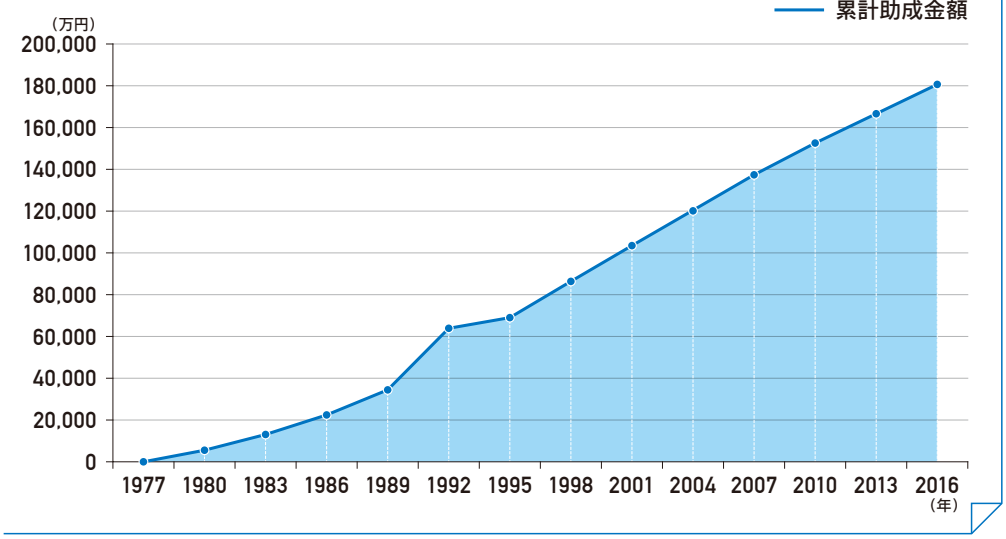


高齢者介護家族支援事業助成先



介護福祉士養成のための
奨学金給付学校訪問

累計助成金額（社会福祉事業）



[財団40年の歩み]

SJ 損保ジャパン

1977年10月
■安田火災記念財団設立



安田火災記念財団が発足
在宅障害者の福祉に重点

安田火災海上(千代田区)は十月一日「財団法人安田火災記念財団」を設立した。この日が同社の創立九十周年にあたるもので、基本財産は三千万円。昭和五十八年度には五億円を見込んでいる。

事業は社会福祉調査研究への助成のほか交通遺児、災害遺児への助成を行う。社会福祉事業への助成は障害者の在宅福祉に重点をおく。本年度は発足したばかりなので調査研究に主体をおくが、来年度は二千二百万円、明後年度は一千四百万円を助成する方針。

助成は全社協が推せんしたものから選考委員会によって決める。

「福祉新聞」
昭和52年11月7日号

1978年1月
■保険業法研究会発足



現在も続いている同研究会の様子

1978年3月
■社会福祉事業助成スタート(物品助成)



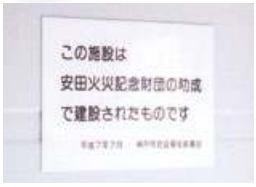
園生ら働く喜び倍増
農機具用格納庫も
福祉園に待望のトラクター

「神戸新聞」
昭和56年2月13日号

1978年4月
■社会福祉研究助成スタート
■交通遺児援助金スタート
(1994年度終了)

1995年4月
■震災対応特別プログラム実施
■物品助成を全面中止し、
阪神淡路大震災への対応に支援





1977 1978 1991 1992 1993

1991年10月
■日本火災福祉財団設立

(財)日本火災福祉財団が認可
高齢者福祉で日本火災が設立

日本火災海上保険は、高齢者福祉に的を絞った財団を設立した。損保業界では初めて、七月二十五日に認可がおりたもので、来年創業一〇〇周年を迎えるのを記念した。理事長に日本火災の佐野庶務社長が就任、専務理事に医療品副作用被害救済・研究振興基金の前理事の小野真造氏を迎えた。

高齢者福祉の中でも、とりわけ在宅福祉に力を入れ、お年寄りと家族を支援する事業を年間五、五〇〇万円かけて行っていく。その主な内容は①高齢者福祉に携わる人のための事業――福祉従事者からの論文募集から施設からの推薦を得て毎年二〇名ぐらいを表彰し、北欧など福祉先進国への十日間程度の研修に派遣する。②家族への支援事業――在宅介護支援センターを通じて介護講習会を実施。痴呆のお年寄りを抱える家族に対し一泊二日で本人を含めた家族間の交流会の開催。③在宅介護支援センターなどの施設に機器購入費を助成。

今年度は年度途中なので、三、〇〇〇万円程度の事業規模になる。九月には募集要綱を決め、十月に募集を開始したいという。

財団の基本財産は一〇億円(初年度六億円)。厚生省と文部省の共管。なお、事務局は東京都中央区銀座三ノ四ノ二に置いた。〒一〇四 電話〇三―五五六五―八六九五

「シルバー新報」平成3年8月5日号



1991年7月
■痴呆性老人介護家族交流研修事業
スタート



日本興亜損保 NK

1999年4月

■社会福祉事業助成見直し
①NPO法人設立資金助成(2011年度終了)
②自動車購入費助成
③会議会合・国際交流費助成
を3本柱とした。



NPO法人設立資金助成贈呈式



自動車購入費助成

1999年4月

■損保ジャパン記念財団賞創設







2004年4月

■NPO基盤強化資金助成をスタート
NPO法人の「質の充実」に貢献



1995 1998 1999 2004 2006 2010

1992年

■在宅福祉サービス従事者の海外研修スタート(1996年終了)



スウェーデンでの研修

■介護福祉士養成施設在学生への奨学金スタート





ジェロントロジー研究報告

1993年

■ジェロントロジー(老年学)研究助成事業スタート



1998年10月

■社会老年学研究所開設
(2015年3月終了)



アメリカ老年学会から学会賞受賞

2006年

■創立15周年記念シンポジウム



2010年
■海外助成スタート





ASEAN・インドを対象に助成を展開

2011年
■地域災害等緊急対策助成
■NPO復興資金助成実施



2011年7月 ■公益財団法人認定

2012年4月
■公益財団法人認定

2013年
■認定NPO法人取得資金助成スタート



2015年4月
■財団合併



「財団ニュース」合併号

2017年10月
■40周年記念事業として住民参加型福祉活動資金助成を実施



2011 2012 2013 2015 2016 2017

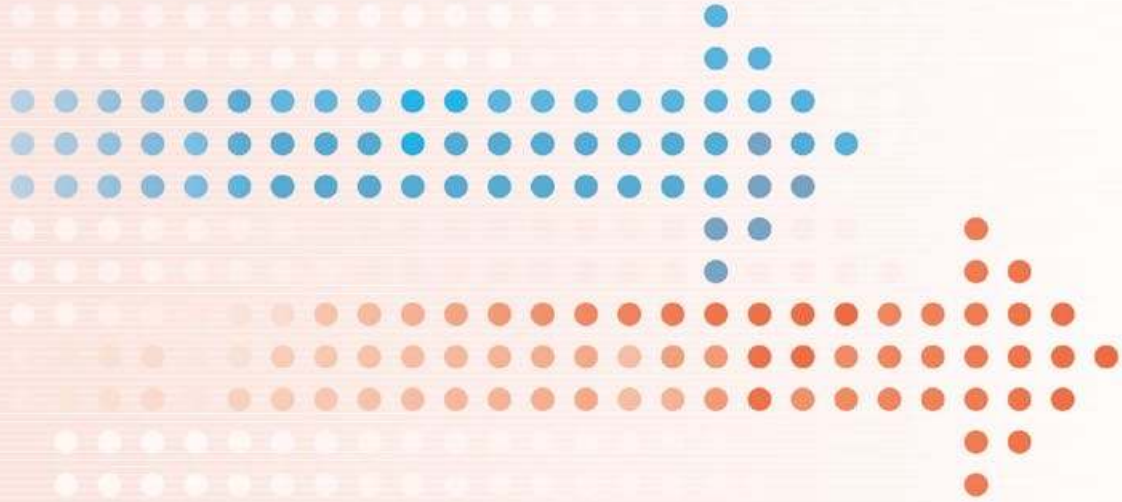
2011年
■創立20周年記念シンポジウム



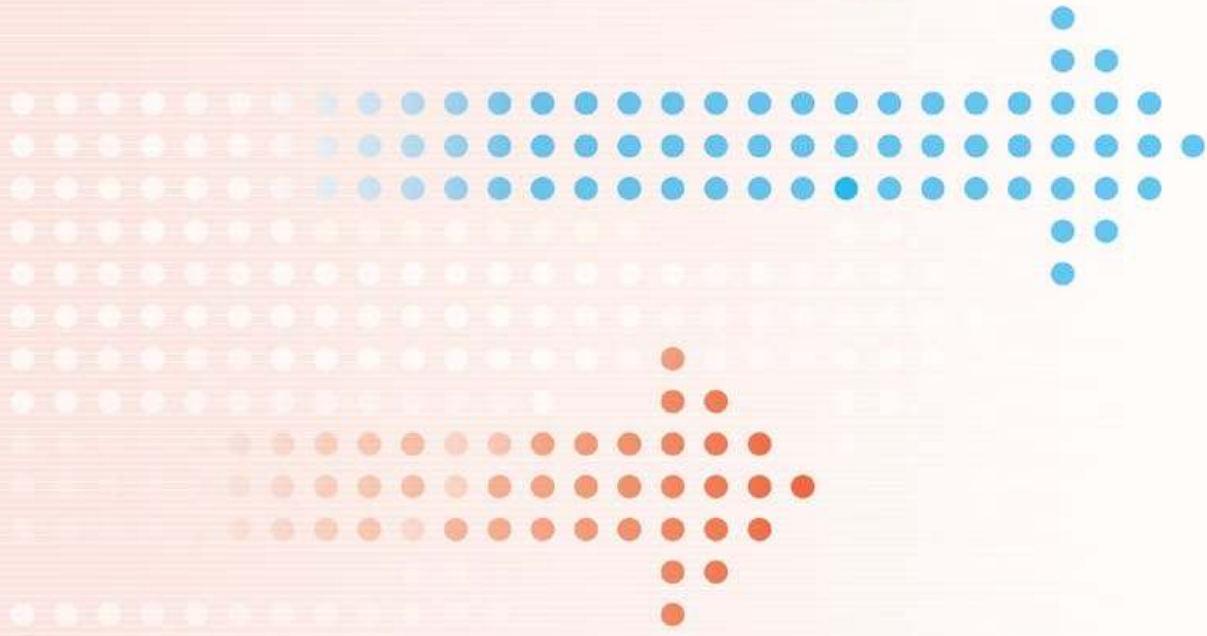
財団事務局

2016年4月
■研修会資金助成スタート





2015 Sompo Japan Nipponkoa Welfare Foundation





SOMPO JAPAN NIPPONKOA WELFARE FOUNDATION

1977 » 2017